

科目名	先端科学 Medical Advances on the Frontiers of Science		担当教員 (研究室番号)	森下 直紀 (508)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修 年次	4年次 前期	科目 区分	教養・基礎科目		選択 区分	選択	単位数 (時間)	1(15)	授業 形態	講義	科目等 履修生	否
											オープンクラス	否
科目 目的	生命・医療テクノロジーは概して高度で複雑なものであり、その時々先端科学の存在なくしてはありえない。そこで本授業では、先端科学の発展と生命・医療技術への応用について、歴史的な観点から概説する。またそれらの科学技術リスク、すなわち医療リスクについての社会的な問題について検討する。											
ディプロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解)										
	関連する DP	A 人々の生命・尊厳・権利を尊重し、看護専門職者としての倫理観に基づいて行動することができる。(姿勢・態度)										
到達 目標	・先端科学の発展と生命・医療技術への応用の変遷を歴史的な観点から理解し、説明できる。 ・科学や技術の社会におけるリスクについての取り組みを理解し、医療リスク低減に向けた社会の取り組みについて、自らの考えを論理的に説明することができる。□											
成績評価方法 (基準)		平常点 (30%)、期末レポート (70%) による。										
再試験の有無と 基準等		再試験あり。追加レポートの提出による。										
教科書		授業プリントを使用する。										
参考書等		廣野喜幸『サイエンティフィック・リテラシー：科学技術リスクを考える』丸善出版										
学生の主体性を伸ばすための教育方法と 学生への期待		毎回の授業の最後に作成してもらうコメントペーパーの内容を元に、履修者の興味関心に沿った内容を次回以降の授業内容に可能な限り反映していきます。またグループワークもありますので、ぜひ主体的に授業に関わってください。										
備考												
回	学習項目				学習内容						主担当 教 員	授業 方法
1 回	オリエンテーション				授業の目的や進め方について説明する。						森下	講義
2 回	死亡リスク				日本における死亡者の原因別数値を概観し、日本の死亡リスクを概説します。						森下	講義 演習
3 回	遺伝子治療・再生医療 (1)				遺伝子治療および再生医療の歴史的展開について概説します。						森下	講義 演習
4 回	遺伝子治療・再生医療 (2)				遺伝子治療および再生医療の歴史的展開について概説します。						森下	講義 演習
5 回	人工知能を用いた医療・遠隔医療				人工知能を用いた医療および遠隔医療の歴史的展開について概説します。						森下	講義 演習
6 回	医療事故とはなにか				医療事故の様々な定義を概説し、主に日米の医療ミス問題への取り組みについて解説します。						森下	講義 演習
7 回	医療事故対策の在り方				航空産業分野のリスク低減の取り組みを解説し、医療分野と比較しつつ検討します。						森下	講義 演習
8 回	まとめとふり振り返り				講義を通じて履修者が感じた気づきやより発展的に学習したい内容などを再確認します。						森下	講義

学 習 課 題
・各回の授業後に振り返りのコメントペーパーを作成し提出すること。

実務経験を活かした教育の取組